

決算説明資料  
2022年3月期 年度決算  
(21/4-22/3)

2022年4月25日



JSR Corporation

# 再掲：中期経営方針 (2022年5月24日 進捗に関する経営方針説明会を開催予定)

## <ビジョン>

- ・持続的 (Sustainable) 成長を目指し、すべてのステークホルダーに価値を創造する
- ・あらゆる環境変化に適応する強靱な (Resilient) 組織をつくる

## <事業ポートフォリオ>

- ・デジタルソリューション事業(DS。特に半導体材料事業)、ライフサイエンス事業(LS)をコア事業とする

## <ターゲット>

- ・DS&LSで25/3期に過去最高益の更新、ROE 10%以上、ROIC 最大化を目指す (DS 25%以上、LS 12%以上)
- ・資本配分は事業投資を最優先。株主還元は50%程度をガイドラインとする

## <事業戦略>

### ■デジタルソリューション事業

- ・半導体材料:CAGR 8%以上(シリコンウエハー面積市場成長の倍)。M&Aを含めた事業規模・分野の拡大。
- ・ディスプレイ材料:選択と集中によるキャッシュカウ化、緩やかな利益成長。エッジコンピューティングは売上成長加速。

### ■ライフサイエンス事業

- ・売上高 1,000億円超、ROS 20%を達成。
- ・CDMO, CRO中心としたパイプライン拡大による売上成長の加速。グループ全体のシナジー強化により持続的成長を実現。

### ■石化系事業 (エラストマー事業、ABS事業)

- ・エラストマー事業の構造改革を推進。

# 決算のポイント

## <22年3月期実績>

- ・FY21実績は対前年で大幅な増収増益を達成。FY22に向け半導体材料とライフサイエンス事業が成長を牽引する見通し。
- ・対計画では売上収益はほぼ計画並みとなったがコア営業利益は未達となった。
- ・第4四半期に半導体材料にて米国洗浄剤工場の減損38億円を計上した。

## <デジタルソリューション事業>

- ・半導体材料はYoY+16%の売上成長を達成。100%子会社化したInpriaを含むEUVレジストはYoY+90%の成長となった。
- ・米国洗浄剤工場の立上げ遅れに伴い第4四半期に減損を計上。安定稼働は続けており操業拡大により早期挽回を図る。
- ・ディスプレイ材料は、年度後半のパネルメーカーの稼働調整の影響を受けたが、事業再編を完了し安定成長への道筋をつけた。
- ・半導体材料全体は好調継続でありFY22も+17%の売上成長を見込む。中期経営方針に掲げる成長ストーリーに変更なし。

## <ライフサイエンス事業>

- ・YoY+31%と強い売上成長を達成。各セグメントとも競争力ある製品と強い需要環境で売上収益を拡大した。
- ・第4四半期のCDMOの売上収益・利益の減少により通期の利益目標は未達。新工場の立上げに伴う先行費用の発生等。
- ・FY22は引き続き事業全体で強い売上成長を見込む。欧米のCDMO新工場が当年度の業績向上に大きく寄与する見通し。

## <エラストマー事業構造改革・その他>

- ・エラストマー事業は22年4月にENEOS株式会社への全株式の譲渡が完了。
- ・今後も中期経営方針のビジョン達成に向けた施策を推進していく。
- ・株主還元策として本日付で総額300億円を上限とする自社株買いを発表した。

# 決算ハイライト 1 - 21年度実績 実績vs計画

		FY21 Act	FY21 Pro (as of Nov.8)
連結	売上収益	3,410	3,465
	コア営業利益	433	525
	営業利益	438	523
	親会社所有者帰属利益	373	355
デジタルソリューション	売上収益	1,650	1,645
	半導体材料	1,103	1,090
	ディスプレイ材料	459	460
	エッジコンピューティング	88	95
	コア営業利益	390	445
ライフサイエンス	売上収益	725	720
	コア営業利益	32	60
合成樹脂	売上収益	906	980
	コア営業利益	53	65
その他・調整額	売上収益	129	120
	コア営業利益	-42	-45
Exchange rate (USD/JPY)		112	110

(億円)

※コア営業利益は、営業利益から非経常的な要因により発生した損益(非経常項目)を除いて算出  
 ※親会社所有者帰属利益を除き継続事業のみ表示

- ・2021年11月発表の計画に対し未達となった。
  - ・デジタルソリューション事業：売上はほぼ計画並み。利益は半導体材料の洗浄剤工場の減損及びディスプレイ材料、エッジコンピューティングの対計画での減益により未達となった。
  - ・ライフサイエンス事業：CRO及びIVDの好調により売上は計画達成。CDMOの対計画での稼働低調、一時要因含む費用増により利益は未達。
  - ・合成樹脂事業：コロナ影響から自動車業界の稼働回復を織り込むも半導体不足により年度後半に回復ペースが落ち計画は未達。
- ※半導体材料のInpria買収による評価益及び洗浄剤工場の減損による評価性要因の影響額についてはAppendix参照

# 決算ハイライト 2 – YoY, QoQ

(億円)

		FY20	FY21	YoY	21Q3	21Q4	QoQ
連結	売上収益	3,120	3,410	+9%	884	844	-4%
	コア営業利益	379	433	+14%	192	10	-95%
	営業利益	342	438	+28%	192	17	-91%
	親会社所有者帰属利益	-552	373	-	178	19	-89%
デジタルソリューション	売上収益	1,514	1,650	+9%	427	417	-2%
	コア営業利益	346	390	+13%	167	27	-84%
ライフサイエンス	売上収益	552	725	+31%	196	191	-3%
	コア営業利益	35	32	-10%	19	-7	-
合成樹脂	売上収益	791	906	+15%	229	199	-13%
	コア営業利益	44	53	+20%	16	3	-83%
その他・調整額	売上収益	263	129	-51%	32	36	+13%
	コア営業利益	-46	-42	-	-10	-13	-

※親会社所有者帰属利益を除き継続事業のみ表示

## YoY : 増収増益

デジタルソリューション : 半導体材料の大幅な売上増加により増収増益。

ライフサイエンス : 各サブセグメントの売上収益が大幅に拡大し増収。CDMOの立上げに伴う損益悪化により減益となった。

合成樹脂 : コロナ影響からの需要回復を受け販売数量が増加し、増収増益。

## QoQ : 減収減益

デジタルソリューション : 半導体材料は需要環境は変わらず。3QのInpria買収に伴う評価益、4Qの洗浄剤工場の減損の影響等により減益。

ライフサイエンス : Q4のCDMOの減収減益に伴い減収減益。

合成樹脂 : 受払等会計要因により減収減益。

# 通期予想

(億円)

		FY21 Act	FY22 Pro	YoY
連結	売上収益	3,410	4,100	+20%
	コア営業利益	433	575	+33%
	営業利益	438	575	+31%
	親会社所有者帰属利益	373	460	+23%
デジタルソリューション	売上収益	1,650	1,870	+13%
	半導体材料	1,103	1,295	+17%
	ディスプレイ材料	459	460	+0%
	エッジコンピューティング	88	115	+30%
	コア営業利益	390	430	+10%
ライフサイエンス	売上収益	725	1,150	+59%
	コア営業利益	32	140	+342%
合成樹脂	売上収益	906	1,000	+10%
	コア営業利益	53	65	+22%
その他・調整額	売上収益	129	80	-38%
	コア営業利益	-42	-60	-

Exchange rate (USD/JPY) *	112	116	+3%
---------------------------	-----	-----	-----

減価償却費 **	194	235	+21%
資本的支出	419	360	-14%
研究開発費	241	255	+6%

## 今後の見通し

### ■ デジタルソリューション事業

#### － 半導体

Inpriaのメタルレジストを含めEUVの大幅な成長を見込む。半導体需要は堅調が続き、当社の先端材料に加え広い材料群で販売拡大を見込む。

#### － ディ스플레이材料

顧客業界の生産調整は当面続くと見るが、台湾工場の撤退完了、中国向け配向膜、絶縁膜の販売拡大により売上・利益とも前年並を見込む。

#### － エッジコンピューティング

スマホ市場の回復及び新規顧客への参入を見込む。

### ■ ライフサイエンス事業

CDMO・CRO・BPMの売上成長につながるパイプラインは順調に拡大。CDMOはQ1に北米新工場の量産立上げを見込む。

### ■ 合成樹脂事業

自動車業界の回復を見込む。高付加価値品へのシフトを進める。資材・物流コスト増に対応した値上げ方針を3月に発表済。

### ■ その他調整額

FY22は新ERP立ち上げに伴う一時費用を含む。  
又エラストマー事業売却に伴う売上利益減少影響を一部含む。

\* 為替前提：FY22Proの為替はFY21Q4の実績を置いた。今後実績に応じて前提を見直す予定。

\*\* IFRS16号によるリース資産償却を含まず

※ 親会社所有者帰属利益を除き継続事業のみ表示

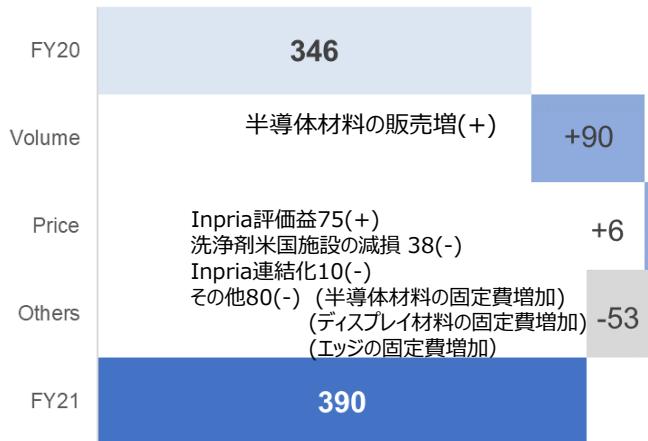
# セグメント別損益：デジタルソリューション事業

(億円)

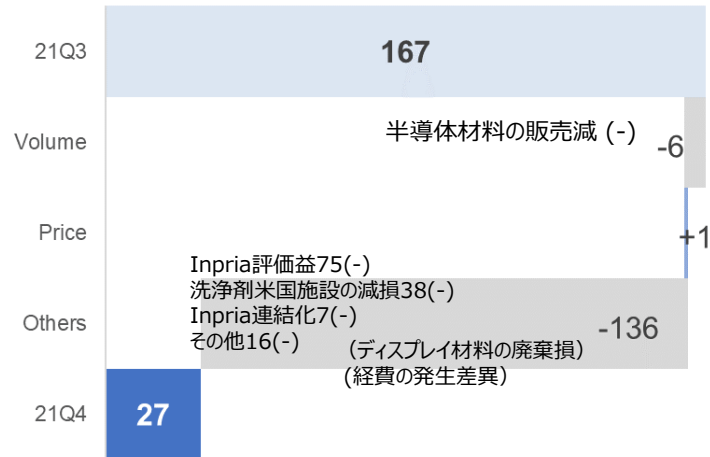
	FY20	FY21	YoY	21Q3	21Q4	QoQ
売上収益	1,514	1,650	+9%	427	417	-2%
半導体材料	949	1,103	+16%	292	282	-3%
ディスプレイ材料	474	459	-3%	110	113	+3%
エッジコンピューティング	92	88	-4%	25	22	-11%
コア営業利益	346	390	+13%	167	27	-84%
コア営業利益率	22.8%	23.6%		39.2%	6.4%	
Exchange rate (USD/JPY)	106	112	+6%	114	116	+2%

コア営業利益差異分析(億円)

YoY



QoQ



# Appendix : デジタルソリューション事業 主要製品売上推移

SEMI	YoY ytd	QoQ
EUV	+90%程度	-5%程度
ArF	+10%程度	+5%弱
多層材料	+15%程度	-5%程度
その他リソグラフィ材料	+35%程度	微増
CMP材料	+10%程度	-10%程度
洗浄剤	+15%強	-20%程度
実装材料	+10%弱	+5%程度
Display	YoY ytd	QoQ
配向膜	+5%弱	+10%程度
絶縁膜	+15%弱	-5%程度
着色レジスト	-30%程度	-30%弱
Edge	YoY ytd	QoQ
ARTON	-5%程度	-5%程度



# セグメント別損益：ライフサイエンス事業

(億円)

	FY20	FY21	YoY	21Q3	21Q4	QoQ
売上収益	552	725	+31%	196	191	-3%
コア営業利益	35	32	-10%	19	-7	-
コア営業利益率	6.4%	4.4%		9.7%	-	
Exchange rate (USD/JPY)	106	112	+6%	114	116	+2%

## コア営業利益差異分析

YoY

	売上収益	コア営業利益
Total	+31%	-10%
CDMO	+25%程度	減益
CRO	+45%程度	増益
BPM	+55%程度	増益
IVD	+25%程度	増益

QoQ

	売上収益	コア営業利益
Total	-3%	-
CDMO	-15%程度	減益
CRO	横ばい	減益
BPM	+10%程度	増益
IVD	+20%弱	前期並み

\*BPM: バイオプロセス材料

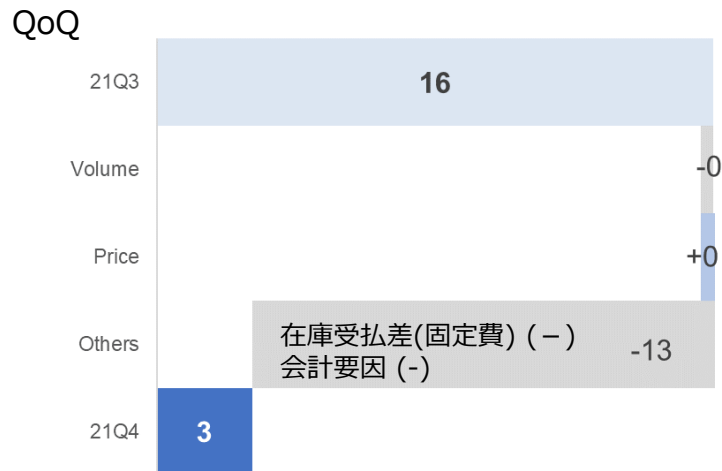
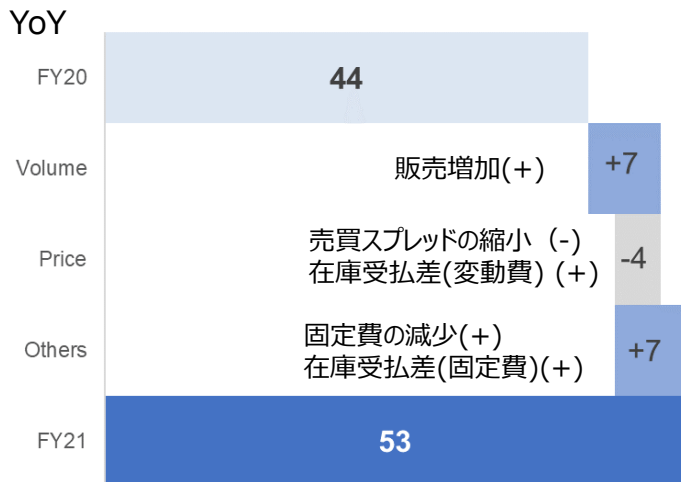
# セグメント別損益：合成樹脂事業

(億円)

	FY20	FY21	YoY	21Q3	21Q4	QoQ
売上収益	791	906	+15%	229	199	-13%
コア営業利益	44	53	+20%	16	3	-83%
コア営業利益率	5.6%	5.9%		7.0%	1.4%	

Exchange rate (USD/JPY)	106	112	+6%	114	116	+2%
-------------------------	-----	-----	-----	-----	-----	-----

コア営業利益差異分析(億円)



# 資本配分方針

## 21/3Eから22/3EへのBS変化

(億円)

	21/3E	22/3E	+/-
流動資産	3,293	2,457	-836
現金及び現金同等物	854	456	-398
その他	2,439	2,001	-438
非流動資産	3,435	3,724	+289
継続事業 小計	6,728	6,181	
売却目的保有に分類される処分グループに係る資産		1,913	+1,913
資産 合計	6,728	8,094	+1,366
社債及び借入金	1,193	1,179	-14
その他負債	1,828	1,611	-216
継続事業 小計	3,020	2,791	
売却目的保有に分類される処分グループに係る負債		1,156	+1,156
負債 合計	3,020	3,946	+926
親会社の所有者に帰属する持分	3,340	3,760	+420
非支配持分	367	387	+20
資本 合計	3,707	4,147	+440

## 資本配分の基本方針

1. M&Aを含めた成長のための事業投資（半導体材料、ライフサイエンス中心）
2. 事業投資に柔軟に対応できる強靱な財務ポジションの維持
3. 50%程度を目安とした株主還元

## 21/3Eから22/3EまでのNet cashの動き

- エラストマー事業の売却目的保有への分類。
- 錦湖ポリケム株式及び政策保有株式の売却により約200億円の現金収入あり。
- Inpriaの買収対価約467億円の支払。
- 22/3Eの正味現金は約-723億円（継続事業）

(2022年4月)

- エラストマー事業売却のクロージングに伴い売却目的保有の資産負債は当社BSから分離。売却対価の収入発生。



## 今後の資本配分について

- 株主還元策として総額300億円を上限とする自社株買いを発表。
- 安定的な財務ポジションは維持されており、今後も左記の資本配分の基本方針の遂行に問題はなし。

# 【APPENDIX】業績見通し詳細

(億円)

		FY20 Act	FY21 Pro (as of Nov.8)	FY21 Act	FY22 Pro	FY22 Proコメント
デジタルソリューション	売上収益	1,514	1,645	1,650	1,870	<ul style="list-style-type: none"> <li>評価性の損益を除く事業利益はFY21実績の353億円に対し、将来成長に向けた経費ベース増加の中、半導体事業の成長によりFY22は430億円と+22%増加。</li> <li>FY22の半導体材料の固定費にはEUVの開発・製造強化、台湾現法に設立による販売強化等の将来投資含む。</li> <li>エラストマー事業売却に絡む間接費負担の増加含む(今後適正化の方針)</li> </ul>
	半導体材料	949	1,090	1,103	1,295	
	ディスプレイ材料	474	460	459	460	
	エッジコンピューティング	92	95	88	115	
	事業からの利益	346	385	363	430	
	Inpria損益(無形資産償却含む)		-15	-10		
	事業からの利益小計	346	370	353	430	
利益率	23%	22%	21%	23%		
Inpria買収の評価益		75	75			
米洗浄剤工場の減損			-38			
コア営業利益	346	445	390	430		
ライフサイエンス	売上収益	552	720	725	1,150	IVD: FY22はCOVID-19抗原検査キット販売効果含む CDMO: 新工場の量産拡大含む
	コア営業利益	35	60	32	140	IVD: FY22はCOVID-19抗原検査キット販売効果含む CDMO: 新工場の量産拡大含め生産性を向上
	利益率	6%	8%	4%	12%	

# 【APPENDIX】連結損益計算書

(億円)

	FY20	FY21	YoY
売上収益	3,120	3,410	+9%
売上原価	1,982	2,149	+8%
売上総利益	1,138	1,261	+11%
販管費	752	873	+16%
その他の営業収益/費用	-37	49	-
持分法による投資損益	-7	2	-
営業利益	342	438	+28%
金融収支	-9	18	-
法人所得税	80	84	+5%
継続事業からの当期利益	253	372	+47%
非継続事業からの当期利益	-799	23	-
当期利益	-545	394	-
親会社所有者帰属	-552	373	-
非支配持分	6	21	+242%

EPS(JPY)	-256.73	173.49	-
EPS - 継続事業 (JPY)	108.65	162.52	+50%
EPS - 非継続事業 (JPY)	-365.38	10.97	-

Exchange rate(USD/JPY)	106	112	+6%
------------------------	-----	-----	-----

## コア営業利益から営業利益までの調整

(億円)

	FY20	FY21
コア営業利益	379	433
減損損失戻入	-	13
関係会社株式売却益	-	3
事業構造改革費用	-35	-
子会社出資金評価損	-	-14
割増退職金	-2	-
その他	-	2
営業利益	342	438

# 【APPENDIX】連結財政状態計算書

	21/3E	22/3E	+/-
流動資産	3,293	4,370	+1,077
現金及び現金同等物	854	456	-398
営業債権及びその他の債権	1,253	761	-492
棚卸資産	1,049	1,049	+1
その他	137	191	+53
売却目的保有に分類される処分グループに係る資産		1,913	+1,913
非流動資産	3,435	3,724	+289
有形固定資産	1,704	1,595	-109
のれん	586	1,176	+590
その他の無形資産	150	246	+96
その他	994	706	-288
資産 合計	6,728	8,094	+1,366
流動負債	1,688	2,883	+1,195
営業債務及びその他の債務	1,008	635	-372
社債及び借入金	379	692	+313
その他	301	400	+98
売却目的保有に分類される処分グループに係る負債		1,156	+1,156
非流動負債	1,332	1,064	-269
社債及び借入金	814	487	-327
その他	518	576	+58
負債 合計	3,020	3,946	+926
親会社の所有者に帰属する持分	3,340	3,760	+420
非支配持分	367	387	+20
資本 合計	3,707	4,147	+440

(億円)

自己資本比率  
(親会社所有者持分比率)  
2021/3E : 49.6%  
2022/3E : 46.5%

# 【APPENDIX】連結CF計算書

(億円)

	FY20	FY21	YoY +/-
営業活動によるCF	704	183	-521
税金等調整前当期純利益	333	455	+122
減価償却費	295	225	-70
運転資本増減額	86	-489	-575
その他	-10	-8	+1
投資活動によるCF	-527	-631	-104
設備投資	-552	-476	+76
子会社株式取得		-473	-473
子会社又は関連会社株式売却	5	152	+147
その他	20	167	+146
FCF	177	-448	-626
財務活動によるCF	43	230	+187
自己株式取得	-0	-0	-0
配当金支払	-129	-140	-11
その他	172	370	+198
その他	14	-15	-30
現金及び現金同等物増減	234	-234	-468
売却目的保有に分類される処分グループに係る現金同等物		-164	-164
現金及び現金同等物期末残高	854	456	-398

※継続、非継続両事業を表示

# 【APPENDIX】四半期推移

(億円)

		20Q1	20Q2	20Q3	20Q4	21Q1	21Q2	21Q3	21Q4
連結	売上収益	675	717	845	883	823	859	884	844
	コア営業利益	80	86	125	87	126	105	192	10
	営業利益	80	62	123	77	111	117	192	17
	親会社所有者帰属利益	11	-18	73	-618	82	94	178	19
デジタルソリューション	売上収益	363	374	384	393	393	413	427	417
	半導体材料	238	229	233	248	261	268	292	282
	ディスプレイ材料	109	118	126	121	111	125	110	113
	エッジコンピューティング	16	27	25	24	21	21	25	22
	コア営業利益	78	91	97	79	104	91	167	27
ライフサイエンス	売上収益	126	135	142	148	163	174	196	191
	コア営業利益	8	8	13	6	12	8	19	-7
合成樹脂	売上収益	162	164	225	241	238	240	229	199
	コア営業利益	5	2	18	19	19	16	16	3
その他・調整額	売上収益	24	43	95	101	29	32	32	36
	コア営業利益	-11	-15	-4	-17	-9	-10	-10	-13
Exchange rate (USD/JPY)		108	106	105	106	109	110	114	116

※コア営業利益は、営業利益から非経常的な要因により発生した損益(非経常項目)を除いて算出

※親会社所有者帰属利益を除き継続事業のみ表示



# 【APPENDIX】IRカレンダー

経営方針説明会

2022年5月24日  
10:00-12:00（日本時間） 予定

FY22Q1  
決算発表

2022年8月1日  
同日、金融機関向け説明会を実施予定

・本資料に記載されております業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報および合理的であると判断する一定の前提に基づいております。  
実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。